

※学校関係者評価実施日は、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校教育目標	自主・協働・創造
目指す学校像	生徒一人一人に笑顔と夢のある学校

達成度	ほぼ達成(8割以上)
	概ね達成(6割以上)
	変化の兆し(4割以上)
	不十分(4割未満)

出席者	
学校関係者(教職員を除く)	7名
事務局(教職員)	3名

領域	現状と課題	年度目標		年度評価(令和7年2月20日現在)		学校関係者評価
		重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	次年度への課題と改善策	
組織運営	<p>○主体的な学びの場を多く取り入れ、授業で様々な力が身につけることが求められている。現状に満足することなく、授業改善を促していきたい。</p> <p>□不登校に大きな課題がある。教育相談体制を強化し、様々な形で支援していくよう努める。</p>	<p>○埼玉県学力学習状況調査で、全教科、全クラスで県平均を超える。</p>	<p>○教科ごとに情報交換に取り組み、主体的な学びの場を増やす授業を推奨する。管理職による授業訪問を定期的の実施し、見届けける。</p>	<p>○埼玉県学力学習状況調査で、全教科とはいかなかったが、概ね県平均を超えることができた。また、学力の伸びはどの教科も確実に伸びている。教科担任の授業改善の効果が表れている。</p>	<p>B</p> <p>・授業については、引き続き生徒が学びに主体的に向かえる授業の取り組みを継続していく。</p> <p>・不登校については、みだんの学校生活を支えることが未然防止につながるため、生徒の学校生活を充実させていく。</p>	<p>・できない生徒をまわりの生徒で支える学級経営ができている。授業にも、それが生きている。</p>
		<p>□不登校生徒の割合の減少を実現する。(8%→5%)</p>	<p>□生徒指導委員会を中心に相談室との連携を密にし、学校全体で不登校生徒の支援体制を確立する。新規の不登校を出さないよう学校生活を充実させ、不登校の未然防止を図る。ステップルームや相談室、オンライン授業等の充実を図る。</p>	<p>□生徒指導委員会を中心に不登校生徒の支援を組織的に行うことはできた。とくに、相談室登校やステップルーム等の活動が昨年よりも充実してきた。しかし、不登校の要因も多様化しており、不登校生徒の減少には至らなかった。</p>	<p>B</p> <p>・朝、見守り運動をしているが、最近あいさつや返事がげんきが悪くなった。</p>	
		○	○	○	○	
教育課程	<p>○教職員の勤務時間のなかで、生徒の教育活動を終えるようにする。</p> <p>□生徒一人一人に学習支援ができる組織づくりを研究していく。</p>	<p>○教育活動のなかで、行事等の精選をさらに進める。また、年間授業時数1015時間を維持しながら、学力向上を目指す。</p>	<p>○学校行事の内容を見直し、費用対効果の高い内容を厳選する。市内中学校の状況を把握し、さらにより教育課程を検討する。</p>	<p>○勤務時間内のなかで最終下校時刻を設定したので、勤務時間内に生徒が学校にいることが少なくなった。教員の事務処理の時間も確保できたので、確実に教員の在職等時間の減少が図られた。</p>	<p>B</p> <p>・今後も、教育の費用対効果を考えながら、教育の質を高めたい。また、学習や集団になじめない生徒への支援の工夫を行っていく。</p>	<p>・運動する機会は大切。学力も大事だが、体力を育ていくことも大切。持久走大会はできないかな。</p>
		<p>□授業についていけない生徒に対して支援体制を確立する。</p>	<p>□ステップ教室を活用し、取り出し授業を実施する。</p>	<p>□ステップルームを利用する生徒は、少ないながらも一定の効果は見られた。</p>	<p>B</p>	
		○	○	○	○	
開かれた学校づくり	<p>○昨年引き続き、保護者・地域から信頼される「地域とともにある学校」づくりを具現化する。</p>	<p>○保護者・地域から信頼される「地域とともにある学校」づくりを具現化する。</p>	<p>○ホームページの充実を目指し、情報の質を向上させる。学校行事の公開、地域連携行事を推進して行い教員の負担のないよう実施する。スタリレの活用。</p>	<p>○ホームページ等を活用し、適宜情報発信することができた。スタリレを活用することで、配付文書をデジタル化できた。行事については、今後もよりよいものを目指して検討していきたい。</p>	<p>B</p> <p>・学校の情報を学校だよりやHP、スタリレ等を活用して発信できた。また、地域行事にも管理職が参加し、理解を得ることに努めた。今後は、地域の力を活用していきたい。</p>	<p>・</p>
		□	□	□	□	
		○	○	○	○	
教職員の資質向上	<p>○研修テーマが、形だけにならないよう適切に実施していく。</p> <p>□終休や中途退職者が出ないよう、教員が健康で働きやすい学校づくりに取り組んでいく。</p>	<p>○「個別支援が必要な生徒へのチーム学校としての実践」を実現する。(本校研修テーマ)</p>	<p>○学校研修主題の具現化を図るため、定期的・計画的に校内外の公開、職員同士の共通理解を取り教育活動を実施する。関係機関との連携も充実させていく。</p>	<p>○計画的に校内研修を実施し、テーマ表現に取り組みることができた。小中連携も夏休前休業を利用し、2教科と充実した研修を実施した。小6が中1の授業を参観する小中連携も今年度から再開することができた。</p>	<p>A</p> <p>・今後も教育活動のなかで、幅広く課題解決に向けた研修テーマを研究し、計画的に実施していく。また、効果的な小中連携についても研究していきたい。</p> <p>・働き方改革については、教育課程の変更等図りながら、実施するとともに教員の意識を変えていきたい。</p>	<p>・</p>
		<p>□風通しのよい職場をつくり、教職員の負担感を軽減し、働き方改革を進める。</p>	<p>□計画的に倫理確立委員会を実施し、教育公務員としての自覚を確認する。業務効率を見届け、働き方改革検討委員会のなかで負担軽減を図る。</p>	<p>□相談しやすい「雰囲気づくり」に努め、風通しのよい職場になりつつある手ごたえを感じた。また、適切なタイミングで倫理確立委員会を実施できた。</p>	<p>A</p>	
		○	○	○	○	
施設・設備等の管理	<p>○学校における施設事故のニュースが多い。生徒や保護者、地域の方が安心して登校できるよう施設管理を徹底する。</p> <p>□会計等の自己も付随して多いので、会計事故のないよう合わせて管理していく。</p>	<p>○安全・安心な学校を目指し、施設・設備事故0を達成する。</p>	<p>○日常及び定期的な安全点検を実施し、危険箇所の把握と迅速な対応を行う。決められた予算のなかで、計画的に修繕を進めていく。</p>	<p>○施設・設備の事故0達成した。しかし、施設の老朽化も含めて、計画的に修繕に取り組む必要がある。</p>	<p>A</p> <p>・今後も日々の安全点検を徹底し、計画的な修繕に取り組む。</p> <p>・諸会計について、事故のないよう事務職員と連携を図りながら、教員の意識を高めていく。</p>	<p>・</p>
		<p>□安全・安心な学校を目指し、会計の適正な執行及び会計事故0を達成する。</p>	<p>□諸会計において、定期的な監査を行い、見通しの立つ会計簿を管理する。教員が現金を扱う機会を減らし、事故のリスクを減少させる。</p>	<p>□事務職員との連携を大切にしながら、会計事故0を達成した。</p>	<p>A</p>	
		○	○	○	○	